

▶ 山林作業道の開設と 林産物の活用



地域おこし協力隊
山野 秀幸

目的

吉野林業技術の承継

概要

かわかみ社中が行なう事業として、伝統的に高い技術で育てられてきた木材を出材や管理をするための山林作業道作設事業に関わりながら、基本的な林業技術の習得と、山林管理に必要な重機資格や狩猟免許の取得をしました。

自宅での育苗や木工に取り組みながら、林業全般についての知識を学び、将来的に川上村林業の活気作りに貢献していけたらと思っています。

今年度の取り組み

通年 山林作業道開設作業

資格・免許取得（山林管理関係）

自宅作業場の整備

活動風景



重機の資格取得



森づくりの講義



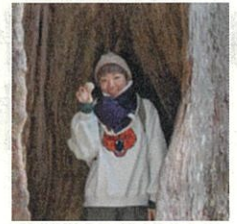
苗づくりの講義



伐採する木の選木作業

▶ 柿の葉寿司の継承と伝承

地域おこし協力隊
小林 早恵



目的

柿の葉寿司の技術習得と知名度向上のPR

概要

家庭で親しまれていた伝統の味“柿の葉寿司”を、村内の事業者様に、鯖や鮭を捌く、酢飯を押す、柿の葉で巻くなど、ひとつひとつ丁寧に基本的な技術を学ばせて頂いています。

また、組合の柿の葉寿司を携えながら、事業者様や行政の方々と共に村内外のイベントを通じて、川上村の柿の葉寿司のPR活動を行ってきました。

今後も、製法と文化を正しく継承しながら、季節の手仕事の楽しさと伝統ある食文化を多くの方々へ届けたいと思っています。

今年度の取り組み

- 通年 事業所研修で技術習得
村内外のイベントに参加
- 4-5月かわかみらいふの研修
- 6月 西日本産直協議会に同行
- 8月 夏休みWSで試食販売
- 10月 大阪工業大学学園祭にて販売

活動風景



事業所様での研修の様子



西日本産直協議会にて



吉野夏休みWSでの販売



事業所様のイベントのお手伝い

▶ 吉野材を用いた家具製作



地域おこし協力隊
広瀬 拓己

目的

吉野材を用いた家具製作で地域活性化

概要

川上村の吉野杉を用いた家具の開発を通して、地域活性化に努めたいと考えています。その想いのもと、工房のスタジオジグで木工技術を学んだり、吉野杉木工センターで働いたりなどの活動に取り組んできました。

樹齢200年を超える立木が豊富で、吉野林業の伝統が生き継ぐ川上村の吉野材をPRする一助となれるよう励んでいきたいと思えます。

今年度の取り組み

通年 Studio Jig にて木工技術研修

4-5月 茶室制作補助

8月 椅子の背もたれ制作補助

10月 よしのウッドフェス

12月 オブジェ研磨、塗装

活動風景



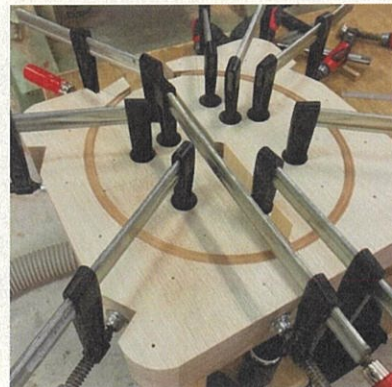
大阪万博「ALL NARA FESTIVAL」茶室制作の補助



茶室の様子



椅子の背もたれ制作補助



オブジェ加工、研磨、塗装風景

▶ 奈良型作業道の作設と 吉野材の製品化

地域おこし協力隊
久保田 準二



目的

森林保全

概要

現在日本の森林は、国産材の価格低迷や、補助制度ありきの施業など様々な要因が重なり、活用されず放置状態の山や、災害の危険性が高まっている山も多いと言われています。

山へのダメージを最小限に抑え、砂防効果のある災害の起きにくい山づくりとして、奈良型作業道を軸とする壊れにくい道づくりを川上村でしていきたいと考えており、現在、作業道作設や樹木伐採を軸に、林業を全般にわたって学んでいます。

また、自分で伐った木で何かを作るなど、木材の様々な活用法を自分でも考え、一般の人々も魅力を感じるような吉野材の活用を提案、実践していきたいと考えています。

活動風景



重機で作業道を開設



支障木を伐倒



檜の造材



作業道開設に向け路線踏査

今年度の取り組み

- 通年 奈良型作業道作設
支障木伐採 造材
- 4月 役場研修 かわかみらいふ研修
- 5月 作業道作設研修 伐木技術研修
踏査 大阪万博ブース参加
- 6月 踏査 資格取得（小型移動式クレーン）
- 7月 森林施業プランナー試験
NHK取材対応
- 8月 林業技能検定試験の補佐員
原木市視察 かみせ祭り出店手伝い
- 9月 資格取得（車両系建設機械運転、
高所作業車運転、簡易架線）
- 10月 痕取り研修 測量研修 原木市視察
踏査 原生林モニタリング調査
資格取得（車不整地運搬車）
- 11月 踏査 古木伐倒見学 測量
原木市視察 山幸彦まつり出展手伝い
資格取得（機械集材、解体技能）
- 12月 原木市視察 自伐型林業の作業道視察
ヘリ集材準備～伐木研修

▶ 林業



地域おこし協力隊
川地 正希子

目的

吉野林業の継承と周辺事業の開発

概要

高密度路網「奈良型作業道」の計画、敷設の技術を習得し、素材生産等に係るローコスト化を目指す。その上で吉野林業の技術の継承、伝統と経済的な自立の方向性を見定める。

また、「道」を作ることで、治山とともに、レクリエーション、セラピー、エスケープ道（防災）、発電といった素材生産にとどまらない森林の機能に着目していきたい。

その他、林業を続ける為の副業として、継続してきている事業（自家焙煎珈琲等）と村の特性を融合したビジネスを開拓する。

今年度の取り組み

- 通年 奈良型作業道の敷設研修
山整備 資格の取得（随時）
- 5月 林業体験スタッフ
- 6月 天川村林業チームとの合同研修
- 7月 夕涼みカフェ開催
- 8月 かみせ祭り出店
- 11月 山幸彦祭り出店
奈良トヨタ秋マルシェ出店
- 12月 おはなしカーニバル出店

活動風景



踏査の様子



山幸彦祭りの様子



材木市見学



測量研修の様子

▶ 人と森とが共存できる 林業スタイル確立



地域おこし協力隊
都倉 茂太

目的

奈良型作業道を基礎とした吉野林業の継承

概要

川上村の林業は、伝統ある山づくりを通して高品質材が育まれている一方、林材価格低迷と出材コスト増に伴い林業継承に課題が出てきています。

その中で

- ① 林業インフラとしての奈良型作業道敷設による維持管理・出材コスト合理化
- ② 吉野で培われた撫育/伐倒/造材技術習得・実践による高品質材搬出
- ③ 施業プランナーとしての提案力の獲得を組み合わせ、人と森とが共存できる新しい林業スタイルのモデル構築にむけて挑戦してまいります。

今年度の取り組み

- 通年 東川にて支障木の伐倒造材出材及び奈良型作業道敷設
- 8月 かわかみらいふにて在所訪問
- 9月 徳田銘木訪問 井光踏査
- 10月 歴史の証人見学 測量 印付け
- 11月 郷土料理体験 高原踏査 測量
- 12月 事業体施業見学 他県林地訪問

活動風景



測量の様子 最大傾斜48度！



印付けの様子 250年杉の凄い魅力



郷土料理挑戦中の様子



初雪の中での事業体施業見学

▶ 村内事業体へのインターン



地域支援員
後藤 佳希

目的

林業に関する技術と知識の習得

概要

協力隊期間中は作業道開設に集中していたので、伐採や搬出などの作業に関しての知識や技術の習得が不十分だと感じていました。そこで現在は村内の林業事業体へインターンというかたちでお邪魔して伐採やヘリでの搬出といった作業に参加しながらノウハウを学んでいます。

今年お世話になった中平林業さんでは、特殊伐採や捨て伐り伐採のほか、天然林にて泊まり込みでの広葉樹の伐採、架線の索道設置など協力隊時代には経験出来なかった様々な作業に参加しました。そのどれもが林業において不可欠な作業であると同時に、それぞれに異なる技術や知識を必要とするため、大変勉強になりました。

今年度の取り組み

通年 特殊伐採

7月 捨て伐り伐採

8月 索道設置

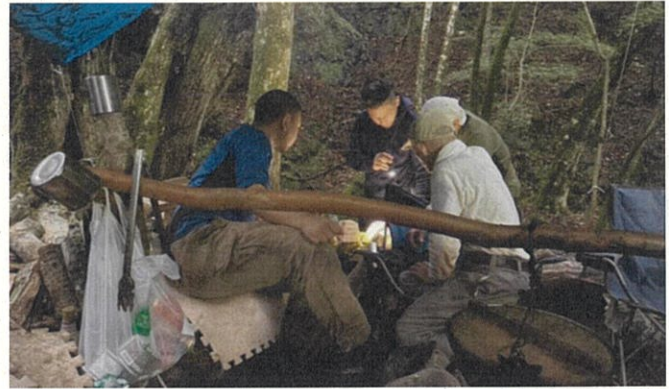
10月 天然林での広葉樹伐採

12月 銘木市

活動風景



特殊伐採の様子



天然林で泊まり込みの伐採



銘木市場に出品した様子



伐採した栃の木

▶ FRONDA(フロンダ)

地域支援員
本多 孝光



目的

枝と株を使った家具創り

概要

山に置き去られて来た川上村産吉野材の枝と株を大切な恵みとして家具創りをしています。

このような試みは稀で、材料のみならずデザインや機能についても唯一無二のモノを提案していきます。

それに伴い株材の割れを生じさせない乾燥法を暗中模索、試行錯誤の中、確立出来れば、山の材を100%有効活用したエシカルなモノ創りの循環が可能となります。

この流れを川上村で構築し、内外へ発信出来ればと思っています。

今年度の取り組み

- 通年 FRONDA (フロンダ) :
枝・株材を使った家具創り
- 5月 枝と株の採取
万博ワークショップ
- 7月 作業場完成
- 9月 堂谷木工製作所さん下請
- 10月 万博ワークショップ

活動風景



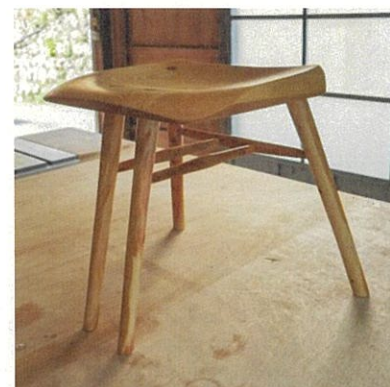
完成した作業場



堂谷木工製作所さんの下請作業



株材の制作過程



世界に一つのデザインの椅子

▶ 林業



地域支援員
島崎 靖章

目的

吉野林業振興

概要

普段は作業道開設を中心として活動しています。

川上村は吉野林業の中心地として500年の育林の歴史があります。昨今の木材価格の低迷や出材コストの上昇によって、山から木を出すことが困難になっている現状を好転させるためにも可能な限り作業道を入れ、持続的な林業経営を行っていけるように頑張っています。

また紀の川の水源地である自然豊かな森林を将来に繋ぐことも重要な課題と考えています。

今年度の取り組み

通年 作業道開設
消防団活動

5月 立木乾燥作業

6月 捨て切り間伐@高原

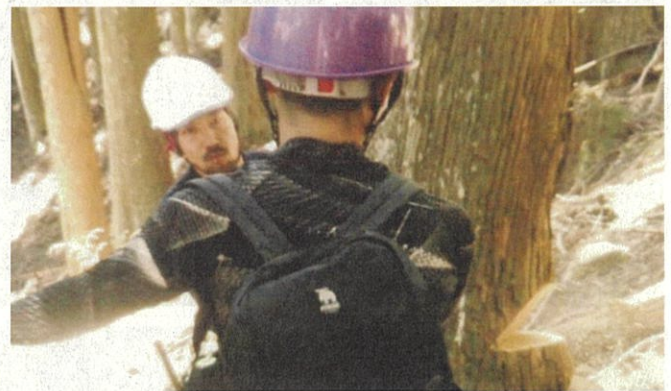
7月 搬出間伐@北塩谷

10月 大阪万博ブーススタッフ
伐採ツアー補助

活動風景



高原山中の様子



間伐研修中



北塩谷山中の様子



伐採ツアー

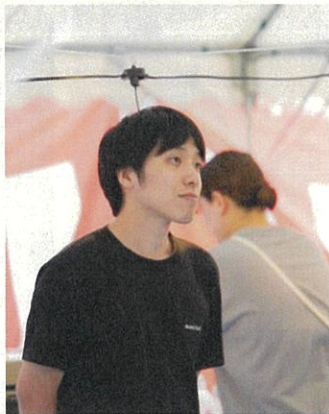
地域おこし協力隊・地域支援員

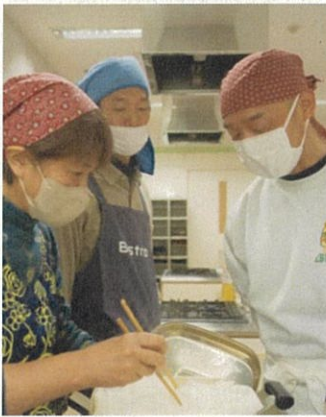
PHOTO ALBUM

川上村の地域おこし協力隊の活動は多方面にわたり、さまざまな繋がりを生んでいます。
彼らの活動風景を少しではありますが、フォトアルバムとして掲載しました。
引き続き、彼らの活動に期待していただければと思います。









地域を変える力になろう。

- 地域おこし協力隊とは -

「都会を離れて地方で生活したい」「地域社会に貢献したい」

「人とのつながりを大切に生きていきたい」

「自然と共存したい」「自分の手で作物を育ててみたい」…。

今、都会に住む人たちがさまざまな理由で豊かな自然環境や歴史、文化などに恵まれた「地方」に注目しています。

「地域おこし協力隊」とは人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、

意欲ある都市住民のニーズに応えながら、

地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

(移住・交流推進機構ホームページより引用)



これからも応援
よろしくお願いいたします！

地域おこし協力隊

野一色 将矢 和島 壮汰 杉山 敬真 川上 結鶴 山野 秀幸 小林 早恵
広瀬 拓己 久保田 準二 川地 正希子 都倉 茂太

地域支援員

後藤 佳希 本多 孝光 島崎 靖章

担当役場職員

栗山 貴大